

団体名	一般財団法人 北海道大沼国際交流協会						
事業名	国際交流 発見！北海道でつけた新しい町 in 環駒ヶ岳エリア						
実施期間	2018年8月5日(日) ~ 8月6日(月) 1泊2日						
場 所	北海道七飯町、森町、鹿部町 (環駒ヶ岳エリア)						
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ 大学関係者	その他 (来場者等)	合計
	15	6	6	30	9		66名

### <実施内容>

2018年8月5日(日)～6日(月)の1泊2日

一緒に地域に住んでいても、留学生と地域の方々が知り合い、交流をする機会はほとんどありません。留学生の大半が住む函館市。函館から札幌(都市から都市)への移動は簡単に行くことが出来ますが、その逆に近年、利用客減少に伴い公共交通機関の廃線、廃路も年々拡大し続け、車のない留学生にとっては自分達が住んでいる函館、その近隣の市町村へ行くことは近くて非常に遠い場所になってきております。

そこで今回、1日目に留学生・地域小学生共に募集を掛け(留学生1名に対し小学生1名)のペアを作り、地域の自然環境を生かした活動を通じ、お互いに密な交流をさせたいと企画しました。当日朝は小雨と風で参加者全員で朝に打合せをし、「行ける所まで」「無理せず、やれるところまで」と決め、(日本200名山:北海道駒ヶ岳)へ登山。山の登るにつれ、雨・風が強くなり6合目で登山を中止にしましたが、登山中、留学生は雨・風から小学生を守り、自然と手を握りお互いを気に掛け、悪天候が良い意味で留学生と小学生(保護者)の絆を深くさせてくれました。その後、天候も回復し交流BBQ、留学生・小学生の混合チームを作り、湖でのカヌー交流体験を行った。

#### 駒ヶ岳登山、交流BBQ、カヌー体験

2日目は留学生だけで、函館から車で1時間の漁村(鹿部町)へ、地域の産業を知る意味でも高級昆布として有名な白口浜真昆布養殖漁場へ漁船で見学、鹿部町教育委員会所属するALTから日本語が分からない参加者に対し、地域の漁業関係者からのお話を通訳、自身が感じた町の魅力を伝えて頂きました。昼食には地元漁協女性部の皆様と一緒に(北海道でも有名なブランド産地である)ミズタコを捌き、怖がって目を背ける参加者もいましたが、飲食店で出来上がった料理を食べるだけではなく、その前の工程(育てる方、漁師さん、それらを加工している方々)のおかげで、美味しいものを食べることが出来る、感謝して生き物を頂くことを、なかなか留学生個人では訪れることの出来ない場所で、留学生の皆様がこの活動を通じ自分達が住んでいる周辺地域を発見してくれたのではないかと感じます。

#### 釣り体験、白口浜真昆布漁場見学、魚市場見学、漁協女性部と料理体験

### <記録写真>



留学生・小学生混合チームを作りみんなで協力し、パドルを漕いだ大沼カヌー体験。



白口浜真昆布漁場へ漁船で出発、後ろに見えるのが昨日6合目までしか登れなかった駒ヶ岳が今日はいくっきり！



今朝獲れたてのタコを使って浜のかあさんと一緒に料理体験食に感謝して食べましょう！

### <参加者からのコメント>

ワン・シーハンさん (台湾) / 王詩涵

- また子供たちと一緒に遊びたい。
- 登山やカヌー体験は少し挑戦性がある活動は子供たちと一緒にすることはとても楽しかった。
- 鹿部漁港見学はおもしろくて楽しかった。・大沼公園の雪まつりとか、冬とか、このようなイベントがあれば、参加したい。ありがとうございました。



グッドウィン・ジョーダン (アメリカ) / Goodwin Jordan

It was so Fun! I think this event should happen more often. Food was fantastic, the activities very enjoyable, everyone was super nice! I loved it! どうもありがとうございました！

